新旧対照表

「輸入禁止品に関する農林水産大臣の輸入許可手続実施要綱」(平成 10 年 3 月 30 日付け 10 農産第 2441 号農産園芸局長通達) 下線部は改正箇所

改 正 後

現行

(輸入禁止品から分離又は生成された微生物、動物、植物等の輸入許可条件の解除)

第19 1~3 (略)

- 4 植物防疫所長は、2項の審査の結果、申請された許可条件解除対象物が次の各号のいずれかに該当する場合は、申請された許可条件解除対象物の許可条件を解除することができる。
- (1) 法第2条第2項及び第3項に該当しないものであること。
- (2) 輸入植物検疫規程(昭和25年7月8日農林省告示第206号。 以下「規程」という。)第9条に掲げる物であること。
- (3) 規則第5条の2に掲げるものであること。
- (4) 規則別表 2 に掲げる輸入禁止品又は輸入禁止対象とする検疫 有害植物が付着した植物を使用した試験研究を通じて生成され た次世代の植物(種子、塊茎、塊根、茎葉、茎頂等をいう。) であって、規程第 2 条第 1 号に該当するもの。
- (5) 3項の検査の結果、規程第2条第1号に該当するもの。

5 (略)

(輸入禁止品から分離又は生成された微生物、動物、植物等の輸入許可条件の解除)

第19 1~3(略)

- 4 植物防疫所長は、2項の審査の結果、申請された許可条件解除対象物が次の各号のいずれかに該当する<u>ものであって、有用植物を加</u>害せず、かつ、輸入禁止品に該当しない場合は、申請された許可条件解除対象物の許可条件を解除することができる。
- (1) 輸入植物検疫規程(以下「規程」という。)第7条に掲げる 植物であること。
- (2) 規程第8条に掲げる動物であること。
- (3) 規程第9条に掲げる物であること。
- (4) 規則第5条の2に掲げるものであること。
- (<u>5</u>) 規則別表 2 に掲げる輸入禁止品又は輸入禁止対象とする検疫 有害植物が付着した植物を使用した試験研究を通じて生成され た次世代の植物(種子、塊茎、塊根、茎葉、茎頂等をいう。) であって、規程第 2 条第 1 号に該当するもの。
- (6) 3項の検査の結果、規程第2条第1号に該当するもの。

5 (略)

(指定微生物保存機関からの譲受け)

第21 1~3(略)

4 第7の2の規定は、管理場所について準用する。

5~9(略)

10 植物防疫所長は、前項の報告に基づき必要と認める場合は、原則として毎年3月末までに、1回以上譲受申請者の管理場所における実地調査を行うものとする。

11~18(略)

(指定微生物保存機関からの譲受け)

第21 1~3(略)

- 4 植物防疫所長は、必要と認める場合には、管理場所が植物防疫課 長が別に定める基準を満たしているかについての実地調査を行う ものとする。
- 5~9(略)
- 10 植物防疫所長は、前項の報告に基づき必要と認める場合は、原則 として毎年3月までに、1回以上譲受申請者の管理場所における実 地調査を行うものとする。
- 11~18(略)

| 別表1 (第2の1、第3、 <u>第4、第5の3</u> 、第 16 の2、第 21 の 2 及び3 関係) | 別表1 (第2の1、第3、 <u>第4の1</u> 、第 16 の2、第 21 の2及び3関係) |
|---|---|
| 表(略) | 表(略) |

別表3 (第6の2関係)

植物防疫所の管轄地域

〔横浜植物防疫所管内〕 (略)

〔名古屋植物防疫所管内〕

| 都道 | 府 県 | 地域 | 担当植物防疫所 |
|--------|--------|------------|--|
| 愛 | 知 | 全 域 | 名 古 屋 本 所 豊 橋 出 張 所 蒲 郡 出 張 所 衣 浦 出 張 所 |
| 岐 長 | 阜 野 | 全 域 | 名古屋本所 |
| Ξ | 重 | 全 域 | 四日市出張所 |
| 富 | Щ | 全 域 | 伏木富山支所 |
| 石 | Ш | <u>全</u> 域 | 伏木富山支所 金 沢 出 張 所 |
| 福 | 井 | 全 域 | 敦賀出張所 |
| 静 | 囼 | 全 域 | 清水支所 |

〔神戸植物防疫所管内〕

| 都道府県 | 地域 | 担当植物防疫所 |
|------|----|---------|
|------|----|---------|

別表3 (第6の2関係)

植物防疫所の管轄地域

〔横浜植物防疫所管内〕 (略)

〔名古屋植物防疫所管内〕

| 都 | 道府県 | 地域 | 担当植物防疫所 |
|----|--------|--|-----------|
| | | (1) 豊橋市、豊川市、田原市、宝飯郡 | 豊橋出張所 |
| 愛 | 知 | (2) 蒲郡市、額田郡、岡崎市、 幡豆郡(一色町を除く。) | 蒲郡出張所 |
| 受 | 和 | (3) 半田市、常滑市、刈谷市、高浜市、碧南市、 西尾市、知多郡、幡豆郡(一色町) | 衣 浦 出 張 所 |
| | | (1) 、(2) 、(3) を除く県域 | 名古屋本所 |
| 岐長 | 阜 野 | 全 域 | 名古屋本所 |
| Ξ | 重 | 全域 | 四日市出張所 |
| 富 | Щ | 全 域 | 伏木富山支所 |
| 石 | Ш | (<u>1) 金沢市、小松市、加賀市、白山市、かほく市、</u> 能美市、石川郡、河北郡、能美郡 | 金沢出張所 |
| | | (1) を除く県域 | 七尾出張所 |
| 福 | 井 | 全域 | 敦 賀 出 張 所 |
| 静 | 岡 | 全 域 | 清水支所 |

〔神戸植物防疫所管内〕

| 地域 | 担当植物防疫所 |
|----|---------|
| | |

| 兵 庫 | <u>全</u> 域 | 神 戸 本 所 姫 路 出 張 所 | 兵 | 庫 | (1) 姫路市、相生市、加古川市、たつの市、高砂市、 揖保郡、加古郡 (1) を除く県域 | 姫路出張所 |
|--------------------|-------------------|-------------------------------------|----|-----|---|-----------|
| 京 都 | 全 域 | 舞鶴出張所 | 京 | 都 | (1) 舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、亀岡市、 京丹後市、船井郡、与謝郡、南丹市 (1) を除く府域 | 舞鶴出張所 |
| 滋賀 | 全域 | 神戸本所 | 滋 | 賀 | 全 域 | 神 戸 本 所 |
| 大 阪 | 全域 | 大 阪 支 所 | 大 | 阪 | 全 域 | 大 阪 支 所 |
| 奈 良 | 全域 | 大 阪 支 所 | 奈 | 良 | 全 域 | 大 阪 支 所 |
| 和歌山 | 全域 | 和歌山出張所 | 和 | 歌 山 | 全 域 | 和歌山出張所 |
| 岡山 | 全域 | 水島出張所 | 岡 | Щ | 全 域 | 水島出張所 |
| 広島 | <u>全</u> 域 | 広島 支所 | 広 | 島 | (1) 尾道市、福山市、三原市(本郷町を除く。) 、 府中市、竹原市、神石郡、世羅郡、 豊田郡(瀬戸田町)、深安郡 | 尾道出張所 |
| <u> </u> | A 1-2 | 1 + 1 1 7 cc | | | (1) を除く県域 | 広島支所 |
| 島根 | 全 域 <u>全 域</u> | 境 港 出 張 所 浜 田 出 張 所 境 港 出 張 所 | 島島 | 根 | 全 域 (1) 浜田市、益田市、大田市、江津市、 邑智郡、鹿足郡 | 境 港 出 張 所 |
| | | <u> </u> | | | (1) を除く県域 | 境港出張所 |
| ЩП | 下関市を除く県域 | 岩国出張所 | Щ | П | 下関市を除く県域 | 岩国出張所 |
| 徳島 | 全域 | 小松島出張所 | 徳 | 島 | 全 域 | 小松島出張所 |
| 香川 | <u>全 域</u> | 坂 出 支 所 | 香 | ЛІ | (1) 高松市(朝日新町及び朝日町1~4丁目) (2) 三豊市詫間町 | 高松出張所 |

| | | | | 11 | | | |
|----|-------------|--|--|-----|-------------|--|----------------|
| 愛 | 媛 | 全域 | 坂 出 支 所 | | | (1) 、(2) を除く県域 | 坂 出 支 所 |
| 安 | 坂 | <u>土 埃</u> | 松山出張所 | 愛 | 媛 | <u>全</u> 域 | 松山出張所 |
| 高 | 知 | 全 域 | 高知出張所 | 高 | 知 | 全 域 | 高知出張所 |
| (門 | 〔門司植物防疫所管内〕 | | | 〔門 | 司植物 | 防疫所管内〕 | |
| 都 | 道府県 | 地 域 | 担当植物防疫所 | 都追 | 前府県 | 地域 | 担当植物防疫所 |
| 福 | 岡 | 全 域 | <u>門 司 本 所</u> 福 岡 支 所 | 福 | 岡 | (1) 北九州市(若松担当区を除く)、中間市、直方市、 田川市、行橋市、豊前市、遠賀郡、田川郡、京都郡、 築上郡 | 門司本所 |
| | | | <u>無 </u> | | | (2) 北九州市若松区、戸畑区、小倉北区(日明地区) | 若松出張所 |
| | | | | | | (1)、(2) を除く県域 | 福岡支所 |
| Щ | П | 下関市 | 下関出張所 | Щ | П | 下 関 市 | 下 関 出 張 所 |
| 佐 | 賀 | 全域 | 福 岡 支 所 | 佐 | 賀 | (1) 鳥栖市、三養基郡 | 福 岡 支 所 |
| 佐 | 貝 | <u>主 </u> | 伊万里出張所 | 1/2 | 貝 | (1) を除く県域 | 伊万里出張所 |
| | | | 短 田 士 氏 | | | (1) 壱岐市、対馬市 | 福岡支所 |
| 長 | 崎 | 全域 | 福岡支所 | 長 | 崎 | (2) 佐世保市、平戸市、松浦市、北松浦郡、 | 少 一田山连红 |
| 反 | 川可 | <u>主 埃</u> | 伊万里出張所 長 崎 出 張 所 | 反 | 呵 | 東彼杵郡、南松浦郡新上五島町 | 伊万里出張所 |
| | | | | | | (1) 、(2) を除く県域 | 長崎出張所 |
| 台比 | + | | 福岡支所 | 台比 | | (1) 荒尾市 | 福岡支所 |
| 熊 | 本 | <u>全 </u> | 八代出張所 | 熊 | 本 | (1) を除く県域 | 八代出張所 |
| 大 | 分 | 全 域 | 大分出張所 | 大 | 分 | 全域 | 大分出張所 |

| | 宮崎 | 全 域 | 志布志出張所 |
|---|-----------|--|---------------|
| | 古 呵 | <u>主 </u> | 細島出張所 |
| | | | 鹿児島支所 |
| | 鹿児島 | A 14 | 八代出張所 |
| | 鹿 児 島 | <u>全 域</u> | <u>志布志出張所</u> |
| | | | 名 瀬 支 所 |
| I | | | |

〔那覇植物防疫事務所管内〕

| 都 道 府 県 | 地域 | 担当植物防疫 | ឤ |
|---------|------------|---------|----------|
| | | 那 覇 本 | 所 |
| 沖 縄 | <u>全</u> 域 | 平良出張 | <u>所</u> |
| | | 石 垣 出 張 | <u>所</u> |

| | (1)日南市 | 志 布 志 出 張 所 |
|-----|-----------------------------------|-------------|
| 宮崎 | (1)を除く県域 | 細島出張所 |
| | (1) 出水市 | 八代出張所 |
| 鹿児島 | (2) 鹿屋市、志布志市、曽於市、 曽於郡(大崎町)、肝属郡 | 志布志出張所 |
| | (3) 奄美市、大島郡 | 名 瀬 支 所 |
| | (1) 、(2) 、(3) を除く県域 | 鹿児島支所 |

〔那覇植物防疫事務所管内〕

| 都道府県 | 地域 | 担当植物防疫所 |
|------|--------------|---------|
| | (1)宮古群島 | 平良出張所 |
| 沖 縄 | (2)八重山群島 | 石垣出張所 |
| | (1)、(2)を除く県域 | 那 覇 本 所 |

別表5 (第7の1関係)

輸入禁止品輸入許可申請書の記載留意事項

| 項目 | 記 載 方 法 |
|---------------------|--|
| 3 採取地又は産 地(欧文併記) | 輸入禁止品が採取された国名又は地域名を記載すること。 なお、海外の微生物株保存機関等から菌株等 を輸入する際は、当該機関等の所在する国名又 は地域名を記載し、括弧書きで採取地を並記す ること。 |
| 11 輸入後の管理方 法及び場所 | 輸入禁止品の保管、試験研究、廃棄別に、方 法及び場所(研究室名等)を詳細に記載するこ と。 |

別表5 (第7の1関係)

輸入禁止品輸入許可申請書の記載留意事項

| 項目 | 記 載 方 法 |
|---------------------|--|
| 3 採取地又は産 地(欧文併記) | 輸入禁止品が採取された国名又は地域名を記載すること。 |
| 11 輸入後の管理方 法及び場所 | 輸入禁止品の保管、試験研究、廃棄別に、方法及び場所(研究室名等)を詳細に記載すること。 。添付する管理場所図面に該当場所を赤線で 囲むこと。 |

|別表6(第7の1及び2関係)

管理場所の基準

| 輸入禁 止品の グルー プ名 | 施設の区分 | 施 設 の 具 備 す べ き 条 件 |
|-------------------------|-----------------------------------|---|
| С | C 1 グループ を対象とする 場合の追加基 準 | (1) 原則として、試験研究所等の屋内施設のみを使用すること(ただし、前室があり、開閉可能な窓を有せず、排気はフィルターでろ過できる構造を持つ温室等の屋外施設で使用する場合を除く。)。 (2) 試験には必ず無菌室等を使用すること。 (3) 増殖や培養を行う際は、他の培養菌又は植物から隔離できる恒温器等を用いること。 (4) その他試験内容等に応じ、必要な分散防止措置が講じられていること。 |

|別表6(第7の1及び2関係)

管理場所の基準

| 輸入禁 止品の グルー プ名 | 施設の区分 | 施 設 の 具 備 す べ き 条 件 |
|-------------------------|-----------------------------------|--|
| С | C 1 グループ を対象とする 場合の追加基 準 | (1) 試験研究所等の屋内施設のみを使用すること(ただし、分散防止措置が比較的容易な検疫有害植物の一部を除く。)。 (2) 試験には必ず無菌室等を使用すること。 (3) 増殖や培養を行う際は、他の培養菌又は植物から隔離できる恒温器等を用いること。 (4) その他試験内容等に応じ、必要な分散防止措置が講じられていること。 |

別表8(第7の1関係)

指定微生物株保存機関の一覧表

| | | T |
|--|-----------------------|-------------------------------|
| 指定微生物株保存機関名 | 保存菌株番 号に付され る記号 | 所 在 地 |
| 独立行政法人 農業生物資源研究所ジーンバンク(NIAS) 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 | MAFF | 茨城県つくば市観音台 2 - 1 - 2 |
| | MAFF | 茨城県つくば市観音台3 - 1 - 1 |
| 畜産草地研究所(NILGS) | MAFF | 茨城県つくば市池の台 2 |
| | MAFF | 栃木県那須塩原市千本松768 |
| 果樹研究所 (NIFTS) | MAFF | |
| 野菜茶業研究所(NIVTS) | MAFF | 三重県津市安濃町草生360 |
| | MAFF | |
| 独立行政法人 農業環境対研究所農業環境インベントリーセンター (NAIS) | MAFF | 茨城県つくば市観音台3-1-3 |
| <u>削除</u> | | |
| 独立行政法人 森林総合研究所企画調整部(FFPRI) | MAFF | 茨 城 県 <u>つ く ば 市 </u> 松 の 里 1 |
| 独立行政法人 産業技術総合研究所つくば中央第六事業所(AIST) | FERM | 茨城県つくば市東1-1-1 |
| "特許生物寄託センター(IPOD) | <u>FERM</u> | <u>"</u> |
| 独立行政法人 製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部 (DOB) | NBRC | 千葉県木更津市かずさ鎌足2-5-8 |
| 独立行政法人 理化学研究所筑波研究所バイオリソースセンター(JCM) | J C M | 埼玉県和光市広沢2 - 1 |
| 国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部(NIHS) | NHL | 東京都世田谷区上用賀1-18-1 |
| 国立大学法人 北海道大学大学院農学研究院 応用生命科学専 | AHU | 北海道札幌市北区北9条西9丁目 |
| 攻分子生命科学講座応用菌学分野(AHU) | | |
| 国立大学法人 群馬大学医学部薬剤耐性菌実験施設(IMRG) | IMRG | 群馬県前橋市昭和町3-39-22 |
| 国立大学法人 千葉大学 <u>真菌医学</u> 研究センター(<u>MMRC</u>) | IFM | 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 |
| <u>削除</u> | | |
| 国立大学法人 東京大学大学院農学生命科学研究科(ATU) | ATU | 東京都文京区弥生1-1-1 |
| 国立大学法人 東京大学医科学研究所感染症国際研究センタ | IID | 東京都港区白金台4-6-1 |
| <u>一病原微生物資源室</u> (IID) | | |
| 学校法人 東京農業大学応用生物科学部菌株保存室(NRIC) | NRIC | 東京都世田谷区桜丘1-1-1 |
| 国立大学法人 岐阜大学大学院医学研究科再生分子統御学講 | GTC | 岐阜県岐阜市 <u>柳戸1-1</u> |
| 座病原体制御学分野(GTC) | | |
| 独立行政法人 酒類総合研究所(NRIB) | RIB | 広島県東広島市鏡山3-7-1 |
| 国立大学法人 大阪大学大学院工学研究科(OUT) | OUT | 大阪府吹田市字山田丘2 - 1 |
| 国立大学法人 大阪大学微生物病研究所感染症国際研究セン | RIMD | 大阪府吹田市字山田丘3-1 |
| <u>ター病原微生物資源室</u> (RIMD) | 1 | |

別表8(第7の1関係)

指定微生物株保存機関の一覧表

| 旨定微生物株保存機関名 | 保存菌株番 号に付され る記号 | 所 在 地 |
|---|-----------------------|---------------------------|
| 出立行政法人 農業生物資源研究所ジーンバンク(NIAS) 出立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 | MAFF | 茨城県つくば市観音台2-1-2 |
| | MAFF | 茨城県つくば市観音台3 - 1 - 1 |
| 畜産草地研究所品質開発部(NILGS) | MAFF | 茨城県 <u>稲敷郡茎崎町</u> 池の台 2 |
| | MAFF | 栃木県那頭西那頭門千本松768 |
| 果樹研究所 <u>生産環境部</u> (NIFTS) | MAFF | 茨城県つくば市藤本2-1 |
| 野菜茶業研究所 <u>果菜研究部</u> (NIVTS) | MAFF | 三重県安芸郡安濃町大字草生360 |
| | | |
| 蛇一球法人 農業環境が研究所農業環境インベントリーセンター(NAS) | MAFF | 茨城県つくば市観音台3-1-3 |
| 虫立行政法人 食品総合研究所応用微生物部(NFRI) | MAFF | 茨城県つくば市観音台2-1-12 |
| 由立行政法人 森林総合研究所企画調整部(FFPRI) | MAFF | 茨城県 <u>稲敷郡茎崎町</u> 松の里1 |
| 虫立行政法人 産業技術総合研究所つくば中央第六事業所(AIST) | FERM | 茨城県つくば市東1-1-1 |
| ま立行成法人 製品評価技術基盤機構バイオテクノロジー本部(DOB) | NBRC | 千葉県木更津市かずさ鎌足2 - 5 - 8 |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | JCM | 埼玉県和光市広沢2-1 |
| 国立 医 薬 品 食 品 衛 生 研 究 所 衛 生 微 生 物 部 (NIHS) | NHL | 東京都世田谷区上用賀1-18-1 |
| 。 國立大学法人 北海道大学大学院農学研究科応用生命科学専 | AHU | 北海道札幌市北区北九条西九丁目 |
| 女分子生命科学講座応用菌学分野(AHU) | | |
| 国立大学法人 群馬大学医学部薬剤耐性菌実験施設(IMRG) | IMRG | 群馬県前橋市昭和町3-39-22 |
| 国立大学法人 千葉大学真核微生物研究センター(IFM) | IFM | 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 |
| 国立大学法人 東京大学分子細胞生物学研究所(IAM) | IAM | 東京都文京区弥生1-1-1 |
| 国立大学法人 東京大学大学院農学生命科学研究科(ATU) | ATU | 東京都文京区弥生1-1-1 |
| 国立大学法人 東京大学医科学研究所微生物株保存施設(IID | IID | 東京都港区白金台4-6-1 |
| TEXT SERVICE THE WINDING WEET TO PROPERTY MODEL (THE | | |
| 東京 農 業 大 学 応 用 生 物 科 学 部 菌 株 保 存 室 (N R I C) | NRIC | 東京都世田谷区桜丘1-1-1 |
| 国立大学法人 岐阜大学大学院医学研究科再生分子統御学講 | GTC | 岐阜県岐阜市 <u>司町40</u> |
| 医病原体制御学分野(GTC) | | |
| 由立行政法人 酒類総合研究所(NRIB) | RIB | 広島県東広島市鏡山3-7-1 |
| 国立大学法人 大阪大学大学院工学研究科(OUT) | OUT | 大阪府吹田市字山田丘2-1 |
| 9 4 7 7 4 7 7 8 7 7 7 7 8 4 7 8 8 8 8 8 8 | | |

国立大学法人 広島大学大学院先端物質科学研究科(HUT) HUT 広島県東広島市鏡山1-<u>3</u>-1 国立大学法人 広島大学大学院先端物質科学研究科(HUT) HUT 広島県東広島市鏡山1-<u>4</u>-1 (注)指定微生物株保存機関名の末尾の()は機関略号。

別表 11 (第 21 の 3 関係)

輸入検疫有害菌譲受許可申請書の記載留意事項

| 項 | 目 | 記 | 載 | 方 | 法 | |
|-------------|-------|---|---|----------------|---|------|
| 10 管理 場所 | 里方法及び | | | 試験研究、 記載するこ | | 方法及び |

別表 11 (第 21 の 3 関係)

輸入検疫有害菌譲受許可申請書の記載留意事項

| 項目 | 記 載 方 法 |
|-----------|---|
| 10 管理方法及び | 輸入検疫有害菌の保管、試験研究、廃棄別に、方法及び場所(研究室名)を詳細に記載すること。 <u>添付する管理場</u> |
| 場所 | 所図面に該当場所を赤線で囲むこと。 |

| 別記様式 2 (第 10 関係) | 別記様式 2 (第 10 関係) |
|--|---|
| 輸入禁止品到着報告書 | 輸入禁止品到着報告書 |
| 年 月 日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 年 月 日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| (管理責任者) 住所 職業 氏名 | (管理責任者) 住所 職業 氏名 |
| 年 月 日付け農林水産省指令 第 号をもって輸入を許可された 輸入禁止品が下記のとおり管理場所に到着しましたので、報告します。 | 年 月 日付け農林水産省指令 第 号をもって輸入を許可された 輸入禁止品が下記のとおり管理新に到着しましたので、報告します。 |
| 記 | 記 |
| 1 到着L た輸入禁止品 産 梱 kg(個) 2 到着年月日 年月日 | 1 到着Uた輸入禁止品 産 梱 kg (個) 2 到着打印 年 月 日 |
| (注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。 | |

|別記様式3の1(第11及び第14関係)

輸入禁止品管理(利用・完了)状況報告書

年 月 日

農林水産大臣

住所 職業 氏名 <u>印</u>

輸入禁止の管理(利用・完了)状況これで、・・・植物が液(事務)所を経由して、下記のとおり報告します。

記

- 1 許可指令番号 農林水産省指令 第 号(年 月 日)
- 2 輸入認可作用日、産地、品名、機構吸び数量 年月日産棚 棚 kg(個)
- 4 利用期間 年 月 日まで
- 5 保管数量 年 月 日現在 梱 kg(個)
- 6 利用経過及び研究結果の概要
- 7 その他(不要となった輸入禁止品及び使用した器具類の消毒措置、植物的空官 立会、年月日等)

備考 20輸入認可年月日は、植物的疫官により輸入認可された期日を記載すること。 (注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

|別記様式3の1(第11及び第14関係)

輸入禁止品管理(利用・完了)状況報告書

年 月 日

住所 職業 氏名

輸入禁止品の管理(利用・完了)状況こついて、・・・植物が疫(事務)所を経由して、下記のとおり報告します。

記

- 1 許可指令番号 農林水産省指令 第 号(年 月 日)
- 2 輸入認可用日 産地 品名、機構吸入数量 年 月 日 産 梱 kg(個)
- 3 管理新成び管理責任者の職名 氏名
- 4 利用期間 年 月 日まで
- 5 保管数量 年 月 日現在 梱 kg(個)
- 6 利用経過ない研究結果の概要
- 7 その他 (不要となった輸入禁止品及び使用した器具類の消毒措置、 植物放穿官 立会、 年月日等)

| 備考 2の輸入認可年月日は、植物的疫官により輸入認可された期日を記載すること。

|別記様式3の2(第11関係)

輸入禁止品管理(利用)状況報告書 (試験種子生育状況報告書)

年 月 日

> 住所 職業 氏名 <u>印</u>

輸入禁止品の管理状況について、・・・植物防疫(事務)所を経由して、下記のとおり報告します。

記

- 1 評別後番号 農林産道段 第 号(年 月 日)
- 2 輸入認可年月日、産地 品名、機構及び数量 年月日産棚 kg(個)
- 4 利用期間 年 月 日まで
- 5 编版加腰

| | | | | | 耮炾 | 生 | É | 状 | 況 | | |
|---|---|---|------------------|-----------------------|------------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----|
| ङ | 綑 | 繣 | 未 種 数量 | 使月薬剤• 濃度• 実施 月日 | 発芽数• 月日 | 戟 (月 日) | 開花 予定 時期 | 結実 予定 時期 | 収穫 予定 時期 | 消毒実施 状況•月日 | 備考 |
| | | | | | | | | | | | |

|別記様式3の2(第11関係)

輸入禁止品管理(利用)状況報告書 (試験種子生育状況報告書)

年 月 日

> 住所 職業 氏名

輸入禁止品の管理状況について、・・・植物防疫(事務)所を経由して、下記のとおり報告します。

記

- 1 許可指令番号 農材(産業) 第 号(年 月 日)
- 2 輸入認可年月日、産地 品名、機切及び数量 年月日産棚 kg(個)
- 3 管理新成び管理管理の職会氏名
- 4 利用期間 年 月 日まで
- 5 编规加腰

| | | | | | 耮炾 | 生 | Ż. | 状 | 況 | | |
|---|---|----|-----------------|-----------------------|------------|---------------------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----|
| 쯞 | 翻 | 種量 | 未婚 数量 | 使月薬剤• 濃度• 実施 月日 | 発芽数• 月日 | 馼(月 日) | 開花 予定 時期 | 結実 予 時期 | 収穫 予定 時期 | 消毒実施 状況• 月日 | 備考 |
| | | | | | | | | | | | |

|別記様式3の3(第11及び第14関係)

輸入禁止品管理(利用・完了)状況報告書 (試験種子管理状況報告書)

年 月 日

印

住所職業

7 3

輸入禁止品の管理状況について、・・・植物防疫(事務)所を経由して、下記のとおり報告します。

記

- 1 許可指令番号 農林水産省指令 第 号(年月日)
- 2 輸入認可年月日、産地、品名、梱数及び数量 年 月 日 産 梱 ㎏(個)
- 3 管理場所及び管理責任者の職名、氏名
- 4 利用期間 年 月 日まで
- 5 利用経過及び研究結果の概要
- 6 未は種種子の管理状況の概要
- 7 その他 (完了時の輸入禁止品の消毒措置、植物防疫官立会、 年月日等)

備考 20輸入認可年月日は、植物的疫官により輸入認可された期日を記載すること。 (注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

|別記様式3の3(第11及び第14関係)

輸入禁止品管理(利用・完了)状況報告書 (試験種子管理状況報告書)

年 月 日

> 住所 職業 氏名

輸入禁止品の管理状況について、・・・植物が疫(事務)所を経由して、下記の とおり報告します。

記

- 1 許可指令番号 農林水産省指令 第 号(年月日)
- 2 輸入認可年月日、産地、品名、梱数及び数量 年 月 日 産 梱 ㎏(個)
- 3 管理場所及び管理責任者の職名、氏名
- 4 利用期間 年 月 日まで
- 5 利用経過及び研究結果の概要
- 6 未は種種子の管理状況の概要
- 7 その他(完了時の輸入禁止品の消毒措置、植物防疫官立会に年月日等)

備考 2の輸入認可年月日は、植物的疫官により輸入認可された期日を記載すること、

別記様式4の1 (第15の1及び16の2関係)

輸入禁止品輸入許可条件の一部変更願

年 月 日

農林水産大臣・・・・・殿

住所 職業 氏名

名

下記1をもって輸入を許可された輸入禁止品について、下記2のとおり輸入許可条件の一部を変更していただきたく、・・・植物防疫(事務)所を経由して申請いたします。

記

1 輸入を許可された輸入禁止品

| 指令書の番号 | 指書の発布用日 | 輸入熱品産地·名称 | 備 | 考 |
|--------|---------|-----------|---|---|
| | | | | |

- 2 変更の内容
- 3 変更の理由

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

別記様式4の1(第 15 の 1 及び 16 の 2 関係)

輸入禁止品輸入許可条件の一部変更願

年 月 E

農林水産大臣・・・・・殿

住所 職業 氏名

下記1をもって輸入を評可された輸入禁止記して、下記2ののとおり輸入評算件の一部を変更していただきたく、・・・植物防疫(事務)所を経由して申請いたします。

記

1 輸入を許可された輸入禁止品

| 指令書の番号 | 指書の発す用日 | 輸入禁止症也·名称 | 備 | 考 |
|--------|---------|-----------|---|---|
| | | | | |

- 2 変更の内容
- 3 変更の理由

|別記様式4の2(第19の1関係) |別記様式4の2(第19の1関係) 輸入禁止品輸入許可条件の一部変更願 輸入禁止品輸入許可条件の一部変更願 年 月 年 月 \Box \Box 農林水産大臣 農林水産大臣 · · · · · 殿 住所 職業 住所 職業 EΠ 日付け農林水産省指令 号をもって輸入を許可 月 日付け農林水産省指令 号をもって輸入を許可 第 第 された下記1の輸入禁止品から分離又は生成された下記2について、輸入禁止品に された下記1の輸入禁止品から分離又は生成された下記2について、輸入禁止品に 該当するかどうかご焼が風いたく、・・・植物が疫(事務)所を経由して申請いた 該当するかどうかご検討願いたく、・・・植物防疫(事務)所を経由して申請いた します。 します。 記 記 輸入禁止品 輸入禁止品 2 分離又は生成されたもの 2 分離又は生成されたもの 3 理由 理由 参考文献名 参考文献名 (注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

|別記様式5(第16の1及び2関係)

輸入禁止品輸入許可申請者の名義所属等変更届

年 月 日

農林水産大臣・・・・・・

住所 職業 氏名

ED

下記1に移り、中間では、下記2のとおり変更となりましたので、・・・植物的後(事務)所を経由して届出いたします。

記 1 輸入を許可された輸入禁止品

| 指令書の番号 | 指書所用 | 輸入禁止症也·名称 | 備 | 考 |
|--------|------|-----------|---|---|
| | | | | |

2 申請者の名義等

(旧)

3 変更の理由

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

|別記様式5(第16の1及び2関係)

輸入禁止品輸入許可申請者の名義所属等変更届

年 月 日

農林水産大臣

住所 職業 氏名

下記1に係る申請の名義所属等は下記2のとおり変更となりましたので、・・・植物的疫(事務)所を経由して届出いたします。

記 1 輸入を許可された輸入禁止品

| 指令書の番号 | 指書の発布用日 | 輸入禁止症也·名称 | 備 | 考 |
|--------|---------|-----------|---|---|
| | | | | |

2 申請者の名義等

(旧)

3 変更の理由

|別記様式6(第17の1関係)

輸入禁止品(輸入・試験)中止届

年 月 日

農林水産大臣・・・・・殿

住所 職業 氏名 ^印

年 月 日付け農林水産省指令 第 号をもって輸入を許可された について、下記のとおり(輸入・試験)を中止したいので、・・・植物防疫(事務)所を経由して届出いたします。

記 1 (輸入・試験)を中止する輸入禁止品

2 中止の理由

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

|別記様式6(第17の1関係)

輸入禁止品(輸入・試験)中止届

年 月 日

農林水産大臣・・・・・殿

住所 職業 氏名

年 月 日付け農林水産省指令 第 号をもって輸入を許可された について、下記のとおり(輸入・試験)を中止したいので、・・・植物防疫(事務)所を経由して届出いたします。

記。

1 (輸入・試験)を中止する輸入禁止品

2 中止の理由

|別記様式7(第20関係)

輸入禁止品輸入許可状況報告書

(年分)

植物防疫(事務)所

| 許可指令番号 | 許可年月日 | 輸入許可の 用に係る区 分 | 産地及び 品名 | 梱 <u>数</u> 及び数 量 | 申請者名 | 管理責任者 の所属及び 氏名 | 備考 |
|---------|---|---------------------|------------|---------------------|------|----------------------|----|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| <u></u> | 輸入許可の用に係る区分 1: 件 2: 件 3: 件 4: 件 | | | | | | |
| | 盲 | † | 件 | | | | |

備考 (1) 報告には当該暦年に新たに許可したものを記載する(一部変更は含まない。)

- (2) 備考欄には、輸入時高圧殺菌、ホルマリンくん蒸等を記載すること。
- (3) 輸入許可の用に係る区分には次の記号を記載すること。 試験研究の用は1、規則第6条の2第1号に係る用は2、規則第6条の2第 2号に係る用は3、規則第6条の2第3号に係る用は4とする。

別記様式7(第20関係)

輸入禁止品輸入許可状況報告書

(年分)

植物防疫(事務)所

| 許可指令番号 | 許可年月日 | 輸入許可の 用に係る区 分 | 産地及び 品名 | 梱 <u>包</u> 及び数 量 | 申請者名 | 管理責任者 の所属及び 氏名 | 備考 |
|--------|---|---------------------|------------|---------------------|------|----------------------|----|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | 輸入許可の用に係る区分 1: 件 2: 件 3: 件 4: 件 | | | | | | |
| пІ | 盲 | ` † | 件 | | | | |

|備考 (1) 報告には当該暦年に新たに許可したものを記載する(一部変更は含まない。)。

- (2) 備考欄には、輸入時高圧殺菌、ホルマリンくん蒸等を記載すること。
- (3) 輸入許可の用に係る区分には次の記号を記載すること。 試験研究の用は1、規則第6条の2第1号に係る用は2、規則第6条の2第 2号に係る用は3、規則第6条の2第3号に係る用は4とする。

別記様式8(第21の1関係)

輸入検疫有害菌譲受許可申請書

下記のとおり を譲り受けれいで許可願いたく、・・・植物防疫(事務)所(・・・支所又は出張所)を経由して申請いたします。

住所 職業 氏名

ED

年 月 日

・・・植物防疫 (事務)所長殿

| 普通名称及び学名 * | |
|-------------------|--|
| 数 量 及 び 梱 数 | |
| 採 取 地 又 は 産 地 | |
| 輸 送 の 方 法 | |
| 譲 受 け の 目 的 | |
| 分譲者の住所・氏名 | |
| 被分譲者の住所・氏名 | |
| 譲 受 予 定 年 月 日 | |
| 輸 送 中 の 包 装 状 態 | |
| 管 理 方 法 及 び 場 所 | |
| 利用期間及び利用後における処理方法 | |
| 管理責任者氏名 | |
| その他参考となるべき事項 | |

別記様式8(第21の1関係)

輸入検疫有害菌譲受許可申請書

下記のとおり を譲り受けるいので許可願いたく、・・・植物が疫(事務)所(・・・支所又は出張所)を経由して申請いたします。

住所 職業 氏名

年 月 日

・・・植物防疫 (事務)所長殿

| 普通名称及び学名 | * |
|-------------------|---|
| 数 量 及 び 梱 | 数 |
| 採 取 地 又 は 産 対 | 地 |
| 輸 送 の 方 🥻 | 法 |
| 譲受けの目 | 的 |
| 分譲者の住所・氏: | 名 |
| 被分譲者の住所・氏 | 名 |
| 譲受予定年月 | 日 |
| 輸送中の包装状! | 態 |
| 管理方法及び場り | 所 |
| 利用期間及び利用後における処理方法 | 法 |
| 管理責任者氏 | 名 |
| その他参考となるべき事〕 | 項 |

注 * 印の欄には、指定微生物株保存機関における輸入許可指令番号及び菌株番号 (原番号と保存番号)を必ず記載して下さい。

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

*印の欄には、指定微生物株保存機関における輸入許可指令番号及び菌株番号(原番号と保存番号)を必ず記載して下され。

別記様式 10 (第 21 の 7 関係)

輸入検疫有害菌譲渡報告書

年 月 日

・・・植物防疫(事務)所長殿

住所職業氏名

印

| 1 | 輸入評議 | 農林水産省指令 第 号 (年 月 日) |
|-----|-------------------|----------------------|
| 2 (| 競技的社 工 | 第 号 (年 月 日) |
| 3 | 譲渡先住所・氏名 | |
| 4 | 譲贈 朱汉 数量* | 産 梱 本 |
| 5 | 輸送の方法 | |
| 6 | 譲渡年月日 | 年 月 日 |

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

別記様式 10 (第 21 の 7 関係)

輸入検疫有害菌譲渡報告書

年 月 日

・・・植物防疫(事務)所長殿

住所 職業 氏名

当機関保存の輸入検疫有害菌を下記のとおり譲渡しましたので・・・植物防疫(事務)所(・・・支所又は出限所)を経由して、下記のとおり報告します。

| 1 輸入許可指令番号 | 農林水産省指令 第 号 (年 月 日) |
|-----------------------|----------------------|
| 2 譲りを行されて書 (国内譲り場の発動) | 第 号 (年 月 日) |
| 3 譲渡先住所・氏名 | |
| 4 譲度試株名及び数量* | <u>産</u> 梱 本 |
| 5 輸送の方法 | |
| 6 譲渡年月日 | 年 月 日 |

* 譲度菌株の状態(凍結アンプル又は調発は一つで、) 及び菌株番号(原番号と保存番号)を記載して下さい。

別記様式 11(第 21 の 8 関係) 譲受輸入検疫

譲受輸入検疫有害菌到着報告書

年 月 日

・・・植物防疫(事務)所(・・・支所又は出張所)長殿

(管理貴任者)

住所職業

年 月 日付け 第 号をもって譲受けを許可された輸入検疫 有害菌が、下記のとおり管理場所に到着しましたので報告します。

記

1 到着した輸入検疫有害菌

kg (個)

印

2 到着年月日 年 月 日

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

別記様式11(第21の8関係)

譲受輸入検疫有害菌到着報告書

年 月 日

・・・植物防疫(事務)所(・・・支所又は出張所)長殿

(管理貴任者)

住所職業氏名

年 月 日付け 第 号をもって譲受けを許可された輸入検疫 有害菌が、下記のとおり管理場所に到着しましたので報告します。

記

1 到着した輸入検疫有害菌

産

椒

kg (個)

2 到着年月日 年 月 日

別記様式 12 (第 21 の 9 関係)

輸入検疫有害菌管理(利用・完了)状況報告書

月 \Box

・・・植物防疫(事務)所長殿

住所 職業

譲受けを許可された輸入検疫有害菌の管理(利用・完了)状況こついて、・・・植 物防疫(事務)所(・・・支所又は出場所)を経由して、下記のとおり報告します。

譲受許可年月日及び譲受許可番号

日付け

譲受年月日、産地、品名、梱数及び数量

当該輸入検疫有害菌に係る指定微生物株保存機関名及び許可指令番号 農林水産省指令 第

- 管理場所及び管理責任者の職名、氏名
- 利用期間

月 日まで

年 月 保管数量 日現在 梱

日まで

利用経過及び研究結果の概要

その他(不要となった輸入検疫有害菌及び使用した器具類の消毒・措置、植物防 疫官立会い年月日等)

利用経過及び研究結果の概要

その他(不要となった輸入検疫有害菌及び使用した器具類の消毒・措置、植物防 疫官立会い年月日等)

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

別記様式 12 (第 21 の 9 関係)

輸入検疫有害菌管理(利用・完了)状況報告書

月 \Box

・・・植物防疫(事務)所長殿

住所 職業

|譲受けを許可された輸入検疫有害菌の管理(利用・完了)状況ころいて、・・・植 物が疫(事務)所(・・・支所又は出場所)を経由して、下記のとおり報告します。

譲受許可年月日及び譲受許可番号

本

年 月 日付け 第 譲受年月日、産地、品名、梱数及び数量

「当練的人検疫有害菌に係る指定微生物株保存機器を及び許可指令番号 農林水産省指令第

管理場所及び管理責任者の職名、氏名

月 利用期間

年 月 保管数量 日現在 梱

| 別記様式 13 (第 21 の 13 関係) | 別記様式 13 (第 21 の 13 関係) |
|--|---|
| 輸入検疫有害菌譲受許可条件の一部変更願 | 輸入検疫有害菌譲受許可条件の一部変更願 |
| 年 月 日 | 年 月 日 |
| ・・・植物防疫(事務)所長 殿 | ・・・植物防疫(事務)所長 殿 |
| 住所 職業 氏名 | 住所 職業 氏名 |
| 年 月 日付け 第 号をもって譲受けを許可された について、下記のとおり譲受許可条件の一部を変更していただきたく、・・・植物が疫(事務)所(・・・支所又は出張所)を経由して申請いたします。 | 年 月 日付け 第 号をもって譲受けを許可された について、下記のとおり譲受に可条件の一部を変更していただきたく、・・・植物が疫 (事務)所(・・・支所又は出張所)を経由して申请いたします。 |
| 記 | 記 |
| 1 変更の内容 | 1 変更の内容 |
| 2 変更の理由 | 2 変更の理由 |
| (注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。 | |

別記様式 14 (第 21 の 15 関係)

輸入検疫有害菌譲受許可申請者の名義所属等変更届

年 月 H

・・・植物防疫(事務)所長 殿

住所 職業

印

年 月 日付け 号に係る申請者は 下記のとおり変更と 出いたします。

記

申請者の名義等

(旧) (新)

- 2 変更の理由
- (注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

別記様式 14 (第 21 の 15 関係)

輸入検疫有害菌譲受許可申請者の名義所属等変更届

年 月 \Box

・・・植物防疫(事務)所長 殿

住所 職業 氏名

年 月 日付け 第 号に係る申請者は 下記のとおり変更と なりましたので、・・・植物が後(事務)所(・・・支所又は出張所)を経由して届しなりましたので、・・・植物が後(事務)所(・・・支所又は出張所)を経由して届 出いたします。

記

申請者の名義等

(旧)

2 変更の理由

|別記様式 15 (第 21 の 16 関係)

輸入検疫有害菌 (移動・試験)中止届

年 月 \Box

・・・植物防疫 (事務)所長殿

住所 職業氏名

印

日付け第 号をもって譲受けを許可された ついて、下記のとおり(移動・試験)を中止したいので、・・・植物が疫(事務) 所(・・・支所又は出張所)を経由して届出したします。

- 1 (移動・試験)を中止する輸入検疫有害菌
- 2 中止の理由

(注)氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

別記様式 15 (第 21 の 16 関係)

輸入検疫有害菌 (移動・試験)中止届

月 \Box

・・・植物防疫 (事務)所長殿

住所 職業氏名

年 月 日付け 号をもって譲受けを許可された ついて、下記のとおり(移動・試験)を中止したいので、・・・植物が疫(事務) 所(・・・支所又は出張所)を経由して届出いたします。

- 1 (移動・試験)を中止する輸入検疫有害菌
- 2 中止の理由